

体験レポート

1年間の体験スクール「西武塾」。月に一度の活動の様子を体験レポートとしてご紹介します。

11月 アニメーション制作 「自分の体を使って表現しよう」

埼玉県所沢市（西武園ゆうえんち）
2015年11月15日

武蔵野美術大学芸術文化学科の先生・学生のみなさんから教わった「ピクシレーション」。自分の体を使い表現・撮影した画像をつなげて、コマ撮りアニメの手法を使い、独特の動きのある映像を作ります。自分たちでアイデアを出して一緒に作品を作りあげ、協調性や芸術的感性を養った、塾生たちの様子をレポートします。



体験スケジュール

- 09:45 西武園ゆうえんちのホールで、ピクシレーションの作り方を学ぶ
- 10:20 班ごとに分かれて、園内で撮影を開始
- 12:00 昼食「ジンギ好き」を食べた後、さらにおもしろい動きを撮影
- 15:00 作ったアニメをみんなで鑑賞し、よかった作品に投票



「ピクシレーション」の作品を見て、作り方を教わりました。



雨模様の西武園ゆうえんちに集まった塾生たちは、最初にホールで、武蔵野美術大学のみなさんから、ピクシレーションは、写真をたくさん撮影し、撮影したものをつなげて映像にしたものというお話があり、講師の学生が実際に撮影した作品を見ました。カバンが大学構内で持ち主から逃げ回るとしても不思議な映像でした。カバンを少しずつ動かして写真を撮ることを繰り返して作ったそうです。テレビで見ているアニメも、こんな風になくさんの画像をつなげて作っていることを教えてもらいました。おもしろい作品にするコツとして、米徳先生・杉浦先生&にやんご先生から人間の視線とねこの視線の違いを意識することを教わりました。これからのピクシレーション作りが楽しみになってきました。



班のみんなで動きを考えて、写真を撮影したよ！

塾生は4班・保護者は2班に分かれ、いよいよ撮影開始です。各班にテーマがあり、1班「パチパチ」・2班「にほんブログ村」・3班「ふわふわ」・4班「ドタバタ」・保護者「トントン」・「サクサク」です。雨もあがり、園内のいろんな場所で撮影ができるようになりました。どこでどのような動きの作品にするかを、まずはみんなでアイデアを出し合い、そして講師の先生や西武塾サポーターとも相談して決めました。はじめのうちは、なかなか動きがそろわず、何度も撮影をやり直しました。撮影した写真は15秒で1秒の動きになります。一週り撮影が終わり、ホールに戻りパソコンで、どんな映像になっているかを見ました。杉浦先生とにやんご先生から「動きや笑顔が大事だよ」とアドバイスをもらい、午後はどんな撮影をするか、またみんなで話し合いました。



昼食はおいしいジンギ好き！午後は大きな動き・複雑な動きにチャレンジしたよ！



初めての撮影、長い時間をかけて少しずつコマ撮りをした塾生たちは、お腹ぺこぺこです。お昼は、西武園ゆうえんちオリジナルのジンギ好き！自分たちで焼いてお腹いっぱい食べました。その後、午後の撮影がスタート！みんなで話し合った、大きな動きや複雑な動きにもチャレンジ！みんなの動きも、だんだんそろうようになりました。ゆうえんちを舞台に坂道や階段、アトラクション等も活用して、考えたおもしろい動きを楽しみ撮影しました。お父さんお母さんたちに負けない作品を作るため、最後の力を振り絞りひとコマずつ丁寧な撮影を繰り返し作品を完成させました。早くみんなに見せたいな、発表会がとても楽しみです。



ほかの班の作品を見て、投票したよ！

撮影した写真を講師の先生さんがパソコンで編集して、できた作品にタイトルをつけ、ピクシレーションが完成。各班順番に、作品を上映して、感想や大変だったことを発表しました。次に、ひとり2枚のふせんが渡され、良かった点を書いて各班のパソコンに貼って投票しました。「塾生たちが巨人の手に挟まれても立ちあがる様子」を表現した、塾生3班「こびとと大きな手」の作品に多くの票が集まりました。最後に米徳先生と杉浦先生から作品の出来ばえや感想をいただき、先生たちがサプライズとして作った作品「にやんご先生」を見て、みんなは感激していました。ピクシレーション体験、ジンギ好きランチと「芸術と食欲の秋」を楽しく、満喫した1日をお過ごしました。講座終了後はそれぞれ、西武園ゆうえんちのきれいなイルミネーションを楽しみました。



塾生の声

アニメができるまでがよくわかりました。つかれたけどさいごまでがんばったからたのしかったです。

ゆいちゃん (小学1年生)

にやんごせんせいが、せのじゅんでならんだほうがいいとおしえてくれた。さいごまでがんばった。

けいちゃん (小学1年生)

しゃんをつなげたらすごいスピードになった。ものがたりができておもしろい。

ゆうとくん (小学2年生)

写真をとってどう画にしました。ゆっくり歩くのをがんばりました。

ゆうせいくん (小学3年生)

写真をとってアニメを作ったことはないの、なかまといっしょにきょう力することがたいせつだと学びました。

るいちゃん (小学3年生)

今日はみんなでとれて良かったです。1位じゃなかったけど、がんばったので良かったです。

たいがくん (小学4年生)

ピクシレーションのしくみがわかった。さつえいは大変だった。

たいせいくん (小学4年生)

ピクシレーションは「コマどり」で、いろんな動きをしておもしろいどう画ができることを学びました。同じせいを続けたり、い動するのが大変だったけれど、自分ではいさく品ができたなと思いました。

らむちゃん (小学4年生)

写真をとる時、こしがいたかったけど、楽しかった。

たつひとくん (小学5年生)

1枚1枚写真をとっていくのはたいへんだったけど、ふつうではできないことができるのを学びました。いろいろなアイデアがあって楽しかったです。

せなくん (小学5年生)

保護者の声

ピクシレーションという言葉も知らなかったのですが、すごく楽しかったです。大人達も子供に戻ってみんなでわきあいあいでした。

ゆいちゃん (小学1年生) のご家族

TVの動画などで見たことはありましたが、こうやって撮影するんだーとはじめて知りました。子供より大人のほうが夢中になってしまいました。学生さんの説明がすごく上手でびっくりしました。

きあきくん (小学1年生) のご家族

どうい作品を作るのか考えるのが大変だなと思いました。でも作った作品を見ると「できる」と素直に感動しました。デジタルカメラを出して家で作ってみたいならうなと思いました。

まほちゃん (小学2年生) のご家族

いつも子供達の体験を見ている側でしたが、今回は塾生と同じ体験をすることができ、子供と同じ目線での思い出を作ることができ、とてもよい体験でした。

かいせいくん (小学2年生) のご家族

私も参加してとてもたのしかったです。いつもは写真をとっている側なので、他の親御さんとの交流がたのしかったです。

ここなちゃん (小学3年生) のご家族

たくさんコマ撮りをつけていだけだと甘く思っていました。アイデアも体もたくさん必要とし、みんなやるにはとても楽しいと思えました。大人は明日筋肉痛になりそうです。

しょうたくん (小学4年生) のご家族

ピクシレーションについてはわかっていましたが、実際にやってみて難しさがよく分かってきました。保護者も参加したので保護者間のコミュニケーションがとれてとても良かったです。

たいせいくん (小学4年生) のご家族

楽しかったです。想像していなかったのですが、体力必須でした。この機会に勉強できて良かったです。みんな良い作品でした。

たつひとくん (小学5年生) のご家族

私も参加しての1日で、楽しませて頂きました。みなさん色々なアイデアですばりかったです。学生さんの説明がとてもわかりやすく、うまく意見をまとめてくださり、楽しい作品になったと思います。

まなちゃん (小学5年生) のご家族

講師より



塾生のみなさん、今回のピクシレーション制作は楽しく学べましたか？ 塾生は出来上がった映像を見てビックリしました。撮影時間が短いので、みなさんが頭にうかんだイメージをすぐに体で表現できたり、グループで協力して、とても面白い動きを作ったからです。1回目の作品から、塾生チームも大人チームも、あふれるパワーとセンスを感じました。そして、作品をよく見て、面白いところや直したいところを言ったりして、作品のレベルをグンと上げていったのが本当に素晴らしいなと思いました。ありがとうございます！またどこかで会えるのを楽しみにしています。ムサビにも遊びに来てね！
(武蔵野美術大学芸術文化学科 米徳信一教授)



西武塾のみなさん、こんにちは！武蔵野美術大学のさちこ先生です。今回はみなさんが協力して作ったピクシレーション、どの作品もとても楽しいものになりましたね。朝はあまりお天気が良くて、撮影大丈夫かな？とにやんご先生と心配していましたが、みんなの行いが良いおかげで、お天気も良くなって、元氣いっぱいたくさん体を動かすことができました。その様子を見て、にやんご先生と米徳先生もピクシレーションを作りたくなったので、さちこ先生も頑張って演技しました。自分でもやってみて、いろんなことに気づくことができました。ありがとうございました！またどこかで会えるのを楽しみにしています。ムサビにも遊びに来てね！
(武蔵野美術大学芸術文化学科 杉浦幸子教授)